

関川流域委員会 川の見学会 記 録

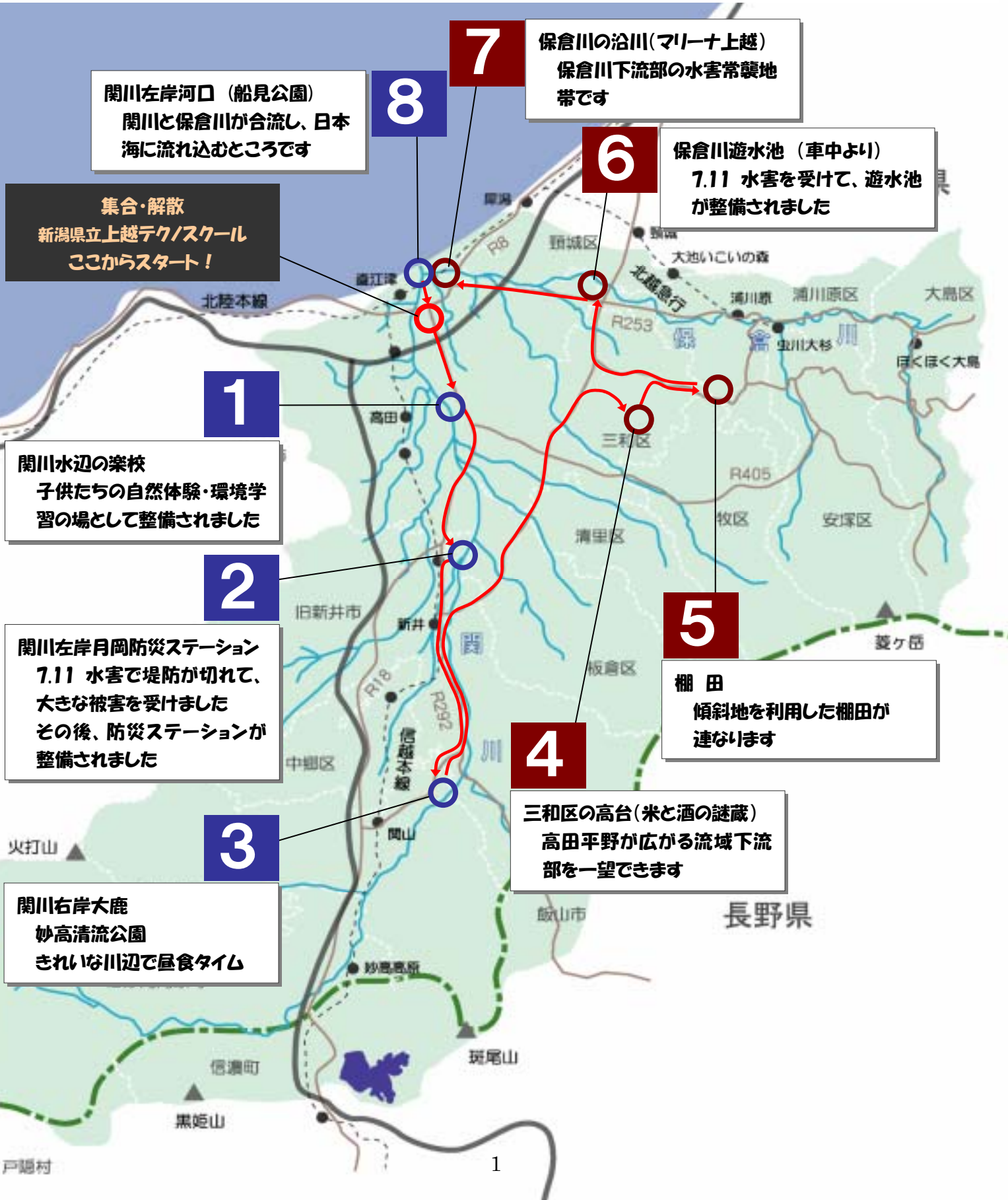
平成 18 年 8 月 19 日（土）

参加者：市民 17 名 流域委員会（7 名） 事務局 5 名

川の見学会ルートマップ	1
川の見学会見学場所の状況写真	2
川の見学会コメントシート	10
川の見学会における感想	18

川の見学会ルートマップ

川の見学会を8月19日に開催し、下の図のルート(→)に沿って見学しました。



1. 関川水辺の楽校

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 堤防上からアプローチしやすい ○ 稲田で24時間体制で水質調査をしていること ○ 水辺まで行きやすい ○ 河川の広さがあるので良い場所である ○ 花壇がきれいになっていた ○ 費用はかかっても住民にとって夢の如き空間で実に好ましい ○ 身近に感じ、日常生活に於いても利用しやすくなったのでは ○ 魚類が豊富でよい ○ 日常生活地域の川の状況しか見えていないため、本日の視察と見学地での説明をお聞きし、川の複合的な状況を少し理解することができました。 ○ 川の持つ大切さを今後も地域でも活かしていきたい ○ 河川敷の利用 ○ 緩やかな河辺を利用した公園もゆったりして気持ちよい ○ 大変良く整備されている ○ 河川下流の趣きがある ○ 水辺の活用を考え良く整備されている ○ 良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然が少なく人工的すぎる ○ ゴミが多い ○ 水がいまひとつきれいかどうかわからない ○ ゴミが一部残っていた ○ 水と接触（直接）できない点が良い ○ 木陰が欲しい ○ 見た目がさびしい ○ 水質がもう少し良くなれば入って遊べるかも ○ 兩岸の道が細すぎるし駐車場も少ない ○ 有害物質の流入の恐れはないか ○ 公園利用のマナー、ゴミ後片付けなど、利用者のマナーはどこに行ってもダメ ○ 少し木陰が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然石を配置するなど ○ 木陰があると良い ○ 遮光の場（夏季）の検討 ○ 事故が発生したときの伝達装置が必要と思われる ○ 木を植える ○ くつろげる空間づくり ○ トイレも欲しい ○ 川辺に下る階段、費用は別として玉石など利用できればと思いました。 ○ 花火等の後処理を自己責任で（地域の協力を得る）

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路、駐車場が整備されている ○ 防災センターの模型がわかりやすい ○ 管理されている ○ 7.11 が忘れられないためには重要な施設 ○ 河川の公園としてはとてもよく自然を感じた ○ 決壊の様子、ダムの意味がわかりました ○ 現場の状況がよく理解できた。よく整備されていた ○ 小学校などでの環境学習に利用できれば維持方法も変わるのでは ○ 住民いこいの場所としてうらやましい ○ はじめて見学した ○ 関川の様子がよく理解できる ○ 水害の恐ろしさを十分確認できた ○ 地域の防災シンボルとして活用 ○ 良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 川の高水敷きの管理(ゴミが多い) ○ もっと人が訪れる方法はなにか ○ 渋江川河岸にゴミが捨てられており見苦しい ○ ふだんの活用の仕方が見えない ○ 防災ステーションといわれておるが、もっと資料説明が欲しい ○ 防災ステーションがあることを知っている人は少ないと思う ○ 申し分なし! ○ 周辺部分ではあるが、石積の角が出ていてあぶないので ○ 左岸が弱かったか ○ 残念ながら今まで知らなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 河原と施設の間の草刈等 ○ 大きくアピール ○ 防災訓練等は ○ 何をするためにある施設? ○ 災害が忘れた頃におこるということである。危険予知をこれから対策が必要であると思う ○ 事故が起きてからでは大変である。後手後手になると増水したときの水位柱の記録が当時の状況がよくわかる ○ 水害が起きたときに防災公園等がどう役立つのか?

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然石の階段護岸 ○ 水辺へのアプローチ ○ 川の水がきれい ○ 川に近づきたいと思う ○ 足を水に浸し涼しさを味わえた ○ とても良かったです。自然とマッチしております。天然水、空気もおいしかった ○ 水がきれいで冷たくて気持ち良かった ○ すごしやすかった ○ 見た目が自然に近くてとてもいい環境だった ○ 風が通り、水量も適度にあり、公園としては最適と思う。 ○ 橋下の有効活用 ○ 川のせせらぎと谷間をわたる風にほっとする空間を味わいました ○ 整備されている ○ 上中流の様子が良い ○ 自然体で良かった ○ 水流がうらやましい ○ 良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知られていない ○ 老人も散策できるようになっていない（状態が悪い） ○ 土曜日なのに人がいない ○ 川までが少しこわかった ○ 木陰をつくる樹木と水（呑水）の施設が欲しい ○ 大きな土手の管理が大変 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然石の活用？ ○ 子供も遊べる空間 ○ キャンプ場としても改良しPRしたらどうか

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 眺望 ○ 頸城平野が一望できるすばらしいところ ○ 景観が良く、流域を見渡せる ○ 流域の大きさが感じられた ○ 頸城平野を一望して全体的に理解するのに適している。 ○ 地域的に考える問題はあるが、しかし、流域全般的思考が必要 ○ 平場の高台であり、更に水の重要性が評価される ○ 米所頸城の水を支えてきた先人の苦勞を偲ぶことができた ○ 広大な農地と農地をまかなう用水に感動しました ○ 良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木陰がない ○ 一個人的な理由による事状により地域全般的に迷惑を掛けることの重要性大切 ○ 酒蔵の建物は地場産業の振興の為とはいえ、何だったのでしょうか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しませる・もてなしの工夫 ○ 付近の森の手入れがされていないので今後検討 ○ 平野の 180° のパノラマにできるよう、目の先の樹木を伐採されてはどうか ○ 道路の改良を ○ 地域住民の意識が大切であるのでは

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 耕地整理済の条件の良い棚田 ○ 棚田が最盛期の1/3になっていることを初めて知った ○ 棚田の役割を目で見て実感できる ○ 景色が非常によく、説明の上、個々の人の汗が想像されました ○ とてもきれいだった ○ 棚田がダムの役割をしていることをはじめて知った。「川上の責任」という言葉が「つながり」というキーワードと含めて印象に残った ○ 都会の喧騒を離れて自然に囲まれた美しさ ○ 本当に自然との調和の大切さを知った。ひとつのことで効果の大きさを知った ○ 現在の耕作の手入れが行き届いている ○ 子供の頃、山間地で過ごしました。懐かしい風景と共に祖先の苦労を偲んでおります。 ○ 自然を上手に利用している 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部基盤整備をしていた ○ 棚田や植栽をなくならないようにしなければならない ○ 労力の減少が問題 ○ 年々耕作ができなくなっている ○ 農業離れ、高齢化等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路をもっと広く。農山村の自然に囲まれた生活の魅力をもっとPRし、国の援助を。 ○ 今後は、余剰労力の(町場などの)活用をすることが大切では ○ 区域の限定、耕作等、確実にできるところを

6. 保倉川遊水池

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 広い水面 ○ 県道に近い ○ あれでどれだけの洪水が防げるのかわからないが、 ○ 水のある風景は良い ○ 水害防止上有効な施設と思われた ○ 野鳥が集まるような条件としてはいかがでしょうか ○ 水辺の環境があるだけできれいだった。少しでも洪水を防げるように遊水池はとても重要だと思う。 ○ 景観としても大変美しい ○ 今後このような方法の活用も良いのでは ○ 洪水の流れを円滑にする初めての施設で評価された ○ 地下に遊水槽を建設する都会に比べ豊かな郷土を実感しています ○ 自然の三日月湖に手を入れているのが良い ○ 自然の池の活用に感動した ○ 良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっと活用できるのではないかな ○ 現在の水位として適切と思えなかった（水位が高い） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 隣接する遊休施設も利用してレク施設にできる ○ 平時の利用法を考えたい ○ 分水案についてはどうなるのか。又頸城の水門について排水ポンプの設置に付いてはどうか（分水案の変りにポンプ設置？）

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 整備・管理が良好 ○ よくここまで整備しましたね ○ 水防活動に支障をきたさない為にも必要であり、効果が大きい ○ 川の色の違いがわかった。上流と下流の整備の違いがあった。きれいに整備されていた。 ○ 気持ちよく、安心して船を置いてすばらしい ○ 利用するマナーの大切さが判った。この様な利用形態も必要であると感じました ○ この施設で保倉川の流れは円滑になる ○ 河川とレジャーの共生 ○ 経費は大変であろうが、大事なことと思った ○ 良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駐車場が少ない、ヨットが不可 ○ もっと広く ○ もっと安価に ○ もっと安全に ○ 水害の常襲地で気の毒だ ○ 不法係留による被害の増大、自分勝手な行為が人に迷惑をかけることが改めて思い知らされました 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ヨットが利用できればなお可 ○ 海に囲まれた日本の良さを満喫するレジャーを国の力で援助

良いと思われる点	悪いと思われる点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 駐車場・トイレがある ○ 川による水の違いがよくわかった (いつもこうだったか、毎日気づかずにいました) ○ 関川、保倉川、両域を確認できるいいの場 ○ 関川と保倉川の水の色の違いがはっきりとわかった。朝から見てきた川の水がすべて集まってきていると思うと、川のつながりや多様性が感じられた ○ 複雑な自然、悠久な自然の姿を象徴する関川河口の水の流れに感動した ○ 最後に全体的河口を見て整備が良好の様に感じました。 ○ 川の合流点での水色の変化、水が旅してきた道(川)を思いうかべています 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂場と護岸の間の整備 ○ 公園と言うか、駐車場と言うか、あまりにも汚すぎる ○ 海岸に打ち上げられた(川から流れてきた)ゴミも見よう ○ 源流の土地の質で水の色がこれほど違うものか ○ 保倉川の関川への合流の難しさを感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境整備 ○ 駐車場をもっと広く。関川と保倉川の水の違いを学問的にしかも判り易く説明する看板が欲しい ○ 途中放流か？ ○ 用地等？ ○ 川上の責任(役割)の見直し

川の見学会における感想

1. 一本の川筋がこれだけ色々な姿をもっているということを実感した。ポイントごとにみなさんのコメントもあり良かった。先生からも貴重なお話をいただいた。上中下流、近くに川がある・ないに関わらず、私たちは水の恵みに支えられているということを感じられたと思う。どこに住んでいようが、水とは関わりがある。
2. この土地に生まれ、関川は関係の深い川である。ただ、自分の住まいが川から離れているので、じかに恩恵を受けてきたという実感はなかったが、今日参加してみて、ああ、川とはこういうものか、ということがわかったような気がする。
3. つながりということでは、上越市 21 万のつながりが必要と感じた。多様性については、性質の異なる川があること、様々な生き物と共生すべきであるということを感じた。
4. 安塚では飲み水に苦労し、砂防ダムの水（7割を占める）と湧水でまかなっているが、砂防ダムの水はかなり濁ったものを使っている。今日、関川の川の水を見て、関川との違いを実感した。
5. ためになった。よくできているなあと思った。
6. 学校で習っていない言葉もあり、勉強になった。地域に住んでいながら、学んでいないこと、知らないことが多いと感じた。水は蛇口をひねれば出てくるもの、という感覚だったが、これからは、水を使うときも、排水を流すときも、上流や下流のことを考えて使うようにしたい。
7. 私たちは水がないと生きていけない、ということを感じた反面、水の恐ろしさも感じた。
8. 直江津では、関川のことを関川と呼ばずに「大川（おおかわ）」と呼んでいるが、これはただ大きい川、というだけではなく、偉大な川、という意味でもあるのではないかと思う。私たちは、水の恩恵を忘れて、思い上がって暮らしているのではと思った。人間だけでなく、他の生き物のことも考えていかなければならないと思う。
9. 合併して周辺町村も上越市になったわけだが、川一つとっても多様性があると感じた。人の土地も知らないといけない、と思った。
10. 川の見かたは、水害、用水など色々な視点があるが、どう川と接するか、どういう川にしていくのがいいのか、を考えていかなければならないと思う。川幅の狭いところもあり、水の力は強いので、水の流れを変えることも必要ではないか。

11. 保倉川沿川に住んでいる。今日、先生から「濁っている水＝汚い水」ではないというお話があったが、私としては現状はやはり汚いと思っており、できるだけ水が悪くならないようにしていきたい。関川沿いで整備された公園や防災ステーションを見たが、災害の後に整備したり碑を立てたりするのではなく、災害が起こる前に何とかできないかと思う。又、内水の問題もある。そういう意味で、分水案には期待している。
12. 日頃はなかなか全体的なことを考える余裕がない。水も環境のひとつであり、その中で私たちも生きている。これからもこのような活動を続けて、地域で協調できるようになればと思う。
13. 清流公園では、川にあったのは木くずなどの自然ごみだけで、川の流れる音が大きく、清流であることを主張しているように感じられた。それに対して、下流に行くと生活ごみが目立ち、川は役目を終えたかのように音もなく流れている。川が、下流まで大きな顔をして流れていけるようになればと思った。
14. 川の持つ多面的な顔を知った。地域の問題を認識した。
15. 下流の水はきたない。保倉川は昔から濁っていた。治水、利水、親水とあったが、やはりこの「親水」。先生から「子どもたちは川で遊びますか？」と聞かれたが、今の親は子どもが大事なので、怪我をさせたくないということで、学校から「川で遊んではいけません」というようなお達しが出るような状況。子どもが川に親しめるようにしたいと思う。
16. 月岡の防災ステーションについて、実際どのように活用しているのか、機会があったら教えてほしい。自発的に参加したわけではなかったが、今日は、うちにいてぶらぶらしているよりよっぽど勉強になった。
17. 自分も自発的な参加ではなく親に参加させられたが、参加して得をした。日本の川は、上中下流がはっきりしていると感じた。フォーラムにも参加させてもらい、7.11 水害の時自分はまだ小さかったのでほとんど記憶になかったが、どんなものだったのかがわかって勉強になった。大学では教わっていないようなことが色々わかったので、今日のことを友達にも話したいと思う。
18. 日常生活地域の川の状況しか見えていないため、本日の視察と見学地での説明をお聞きし、川の複合的な様、状況を少し理解することができました。
川の持つ大切さを今後も地域でも活かしていきたい。
19. 1～8まで全体に人の手によって開発されて天然の状態が少なく、人間によって作られた自然であると思う。
今回見学した棚田は特に開発された棚田だと思う。
これからも自然環境を考えて災害等に対応してもらいたい。

20. 仕事柄、川に調査に行く機会も多いが、今日の川は水量が少ない典型的な夏の姿だった。月岡の防災公園で川を見たら、渋江川の合流点に、昨日今日捨てられたようなごみがあった。このような現状を見ると、われわれの活動はまだまだ途中段階だなという思いがしている。
21. 私も1年ほど前まで田んぼをしていたが、今日、棚田を守っていらっしゃる方のお話を聞いて、流域委員会も巻き込んで、棚田の保全を行って行けたらと思った。今日のよ、川に対するつながりを広く長く継続していくことが必要。
22. 今日は本当に暑かったが、救いだっしたのは、ずっと水を見て回れたこと。水の景観は人を和ませるので、大切にしていきたいと思う。
23. 水は、文字通り人に潤いを与えてくれる。私たちは、平素、生活排水やごみなどいろいろなものが集まってくる下流部で活動しているので、今日上流を見て上流はいいなあと思った。下流の現状から、どうしてそうなのか、中流は、上流は…と考えている。関川の水質の順位を聞いて、122位というのが非常にショックだった。60位くらいかと思っていた。
24. 参加されたみなさんには、「今日こんなことがあって、良かったよ。」ということをごひ家族や友人に伝えてほしい。いま、みなさんはまだ「点」なわけだが、点を面に広げるために宣伝してください。心理学の用語で「単純接触効果」というのがあり、触れ合えば触れ合うほど関心が高まったり、好きになるということがあるので。
25. 点から線へ、面へということをごみなさんとともに感じられたのではないかと思う。川のいろいろな側面をみることができた。下流の人が上流のことを、上流の人が下流のことを、水害の被害を受けていない人が被害を受けた人のことを思う、日本一の関川をつくるための第一歩を踏み出せたのではないか。